

全日本学生室内飛行ロボットコンテスト

エントリー規程

1. 参加チームは2名以上、5名以下で構成され、全員学生であること。
2. 1つの学校から複数のチームがエントリーするのは妨げないが、メンバーの重複は認めない。また、複数チームが類似の機体で参加していると判断される場合はエントリーを取り消すこともある。また、同一団体から多数のチームがエントリーしている場合、事務局と団体の相談の場を設ける場合がある。
3. 各チームの代表者は一般社団法人日本航空宇宙学会の学生会員あるいはジュニア会員であること。ただし、コンテスト当日までに会員登録されていれば良い。
4. 操縦者は遠隔操作を十分に習熟し、日本ラジコン電波安全協会のラジコン操縦士に登録していること。コンテスト当日までの登録は必須であるが、練習飛行時に登録を完了していることが望ましい。なお、チーム代表者が操縦者である必要はなく、メンバー全員が登録する必要はないが、飛行練習も含め操縦を行う可能性のある者は必ず登録すること。
5. 機体開発中の安全管理のために、各チームは顧問の教員(所属学校の先生)1名を置きその指示に従うこと。なお、顧問は一般社団法人日本航空宇宙学会正会員であることがのぞましい。顧問はコンテスト当日、来場する必要はない。教員1名が複数のチームの顧問になることは可能である。
6. 各チームは機体製作の様子が分かるように以下の提出物がそれぞれの期限までに承認されていること。詳細はエントリー終了後に「機体書類審査・動画審査の流れ」として連絡する。
 - 1)エントリー後1週間以内にFacebookページ等でチームのホームページを作成しチーム紹介のメッセージを投稿して公開すること。そのURLを大会連絡アドレス info(あっと)indoor-flight.com ((あっと)を@に変換)に連絡すること。
 - 2)所定の機体審査用紙を提出して、8月下旬の指定された日時までに大会委員の承認を受けていること。機体審査用紙には1次締切、2次締切があるので注意すること。
 - 3)機体レギュレーションに定められた1分以上の飛行動画をYouTubeに掲載してそのURLを提出して、9月中旬の指定された日時までに大会委員の承認を受けていること。
 - ・飛行動画は発進から着陸まで撮影すること。
 - ・飛行動画は室内での撮影であること。
 - ・自動着陸に挑戦するチームはその様子を動画に収録すること。
7. 各チームは競技規定(飛行競技ルール、機体レギュレーション)を遵守して機体開発を行うこと。
8. エントリーと出場枠
 - ・エントリー時には出場する部門を決定すること。
 - ・各賞の受賞にあたっては、出場部門(ビギナーかその他か)が評価基準に含まれる。

- ・ビギナー部門は、予選はなく決勝のみである。
- ・ビギナー部門へのエントリーについては特段エントリー基準を設けないが、事務局が必要と判断した場合、各チームとの話し合いのもと、エントリー部門の調整を行う場合がある。
- ・機体審査並びに動画審査にて承認を受けたチームが運営に支障をきたす数以上になった際には、両提出物の内容を元に主催者が参加チームを指定する場合がある。
- ・一般・自動操縦・マルチコプター部門においては、機体審査並びに動画審査の期日は延長しない。ユニークデザイン部門およびビギナー部門においてはチームの状況その他に応じて期日を延長する場合がある。
- ・機体審査並びに動画審査に不合格のチームは大会本番での飛行は許可されないが、事務局が安全と判断した場合に限り、順位無しでの飛行が認められる場合がある。

9. エントリーは大会ウェブサイトのシステムの案内に従ってマイページを作成し必須事項を入力して登録することで完了する。登録完了時には代表者ならびに顧問の教員にメールが送信されるので確認しておくこと。なお、顧問のメールアドレスは必ず大学から支給されたメールアドレスとすること。登録するメールアドレスは添付ファイルを受信できるメールアドレスとすること。

10. 大会事務局からの連絡のため、特定のツールを使用する場合がある。その場合は事務局の指示に従うこと。

以上の条件を満たす場合に限りエントリーを許可します。